

12-3 薬務食品室の取組

健康づくり（ヘルシーピープルみえ・21推進についての考え方）に関する考え方

- (1) 疾病構造の変化や県民健康意識の向上などに伴い、医薬品等に対する県民の期待はますます高まっています。そのため、医薬品の研究、製造、販売及び使用の各段階における安全対策等を講じ、県民に有効かつ安全で優れた医薬品等を迅速かつ安定的に提供します。
- (2) 県民の食に対する安全・安心を確保するために、より安全で衛生的な食品の流通環境を整備し、食品の生産から消費に至る一貫した監視指導及び検査の充実強化と、食に関するリスクコミュニケーションの充実を図っていきます。
- (3) 人と動物がふれあうことにより、ストレスや孤独感が緩和される「いやし効果」があるといわれています。人と動物が共生できる社会づくりをめざして、動物の適正飼養の普及、啓発を図っていきます。
- (4) 医療制度改革において、治療重視の医療から疾病予防を重視した保健医療体系への転換が示され、またメタボリックシンドローム対策が進められることから、県民の予防医学、健康づくりへの関心が高まっています。医療・健康・福祉分野の産業振興を進めているメディカルバレープロジェクトでは、第二期（平成20年度～22年度）において“統合医療と予防医学の推進”を中心に据え、それに従った各種取組を行います。

平成21年度の取組と成果

- (1) 医療を受ける者が薬局の選択を適切に行うために、薬局の開局時間等、必要な情報の提供に努めました。改正薬事法に基づき設けられた登録販売者試験を1回実施し、制度の円滑な運用に必要な登録販売者の確保に努めました。また、医薬品製造販売業者等への監視、指導を通じ、有効で安全な医薬品等の供給に努めました。
- (2) 県民の健全な食生活と食に対する安心を確保するため、総合行政の中で生産から消費に至る一貫した監視指導・検査体制の強化及び自主衛生管理の推進を図るとともに、リスクコミュニケーションの充実に努めました。また、平成20、21年度の2年間に「みえの食品安全・安心表示ガイドライン」に基づき全ての食品製造業の監視指導を行いました。
- (3) 食肉衛生検査所においては、と畜検査（BSE検査を含む。）食鳥検査及び食肉の残留有害物質検査等を実施するとともに、と畜場及び食鳥処理場を対象とした「三重県HACCP手法導入認定制度」の導入支援を行い、食肉・食鳥肉の安全・安心確保に努めました。また、松阪肉が持つ文化力を紹介する松阪牛文化ミュージアムのインタープリター（語り部）の講習会を開催し資質向上に努めました。
- (4) 小学校、幼稚園等を訪問し、動物介在活動等を通して犬の正しい飼い方、ふれあい方法を伝えると共に、動物愛護意識の高揚を働きかけました。
- (5) メディカルバレープロジェクトの事業として、産学官で構成した統合医療ワーキンググループでの定期的な意見交換会、統合医療関連学会への参加、国内における統合医療先進地のベンチマーキング（訪問地：沖縄県）によって推進体制づくりのための情報収集をしました。同時に、「統合医療研究会（テーマ：温泉療法、マッサージ、薬草）」、「健康ツーリズム研究会」、伊勢志摩の離島を活用した健康ツーリズムを開催し、同内容を紹介する県民向けのパンフレットを作成・配布するなど、実際に県民へ

の普及啓発を行いました。また、「みえメディカルバレーフォーラム」では、食と健康をテーマに広く県民に健康増進の推進と県内企業の医療・健康・福祉分野の企業取組をアピールしました。

平成22年度の取組（事業計画）

- (1) 平成21年6月1日の改正薬事法施行による新しい一般用医薬品の販売制度の円滑な運用に努めます。また、医療提供施設として地域医療の拠点となる薬局の機能強化、有効で安全な医薬品等を提供するための対策の推進に努めます。
- (2) 食品の安全確保について「三重県食品衛生監視指導計画」に基づき、食品の製造、流通及び販売にいたる各段階での監視指導を実施するとともに、適正表示の指導を引き続き行います。また、食品製造施設等に対し、国の総合衛生管理製造過程の承認及び三重県 HACCP 手法導入認定への取組みを支援し、事業者の自主衛生管理を推進します。
- (3) 食肉衛生検査所において、牛海綿状脳症（BSE）スクリーニング全頭検査を確実に実施します。また、前年度に引き続き、と畜場及び食鳥処理場を対象とした「三重県 HACCP 手法導入認定制度」の導入支援や、松阪牛文化ミュージアム事業を実施し県内産食肉の安全・安心を向上させていきます。
- (4) 引き続き、動物介在活動等を通し、動物愛護意識の高揚を働きかけます。
- (5) 平成21年度の取組に加え、予防医学推進のためのワークショップや予防医学フォーラムなど「美し国おこし・みえ」の事業と連携し県民参加型の取組を増やし、県民への普及啓発をより進めていきます。また、三重に江戸時代から発展してきた伝統薬の復活や、健康ツーリズムのビジネスモデル化への取組など、地域の特色を活かした統合医療・予防医学の推進を図ります。